

「新庁舎・（仮称）新福祉会館建設事業に関する市民説明会」における質問等と回答について

総件数：133件

No.	カテゴリ	質問等		回答
		内容	件数	
1	現設計	<p>現設計に基づき早期建設を進めて欲しい。 （主な理由）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プロポーザル等の適正な手続きを経て、市民の意見を踏まえている。</li> <li>・設計の見直しをすると時間がかかる。</li> <li>・本庁舎の老朽化、バリアフリー未対応</li> <li>・民主的プロセスを続けていくと無限に案は出てくる。</li> <li>・市民の意見が100%盛り込まれて設計された公共施設はない。</li> <li>・資材が日々高騰している。</li> <li>・市庁舎を早く建てて、他の事業も進めて欲しい。</li> <li>・職員のパフォーマンス向上や市民サービス向上に期待</li> <li>・ジャノメ跡地購入から30年以上、H21年の基本構想から14年が経過し、時間がかかり過ぎ。</li> <li>・L字型配置により、ピロティができ、雨天時に傘を差さずに乗降できるほか、屋上庭園ができ、子どもたちが安全に屋上で遊ぶことができる。</li> <li>・周囲の友人はみな建設に賛成しており、反対意見は聞いたことがない。</li> </ul>	14	-
2	現設計	基本設計説明会時点からの設計上の変更点は。	1	大きな変更はないが、基本設計のパブコメを受け広場を広くしたほか、ハザードマップ改定に対応するため、建物の1階床の高さを高くするなどを変更した。

3	見直し案	<p>見直し案に賛成（見直し案の検討を要望、現設計に反対の意見を含む。）</p> <p>（主な理由）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・敷地南側に3,000㎡の広場を配置できる（現設計は、広場が敷地北側で狭いほか、広場と車両出入口が近く危険）。</li> <li>・福祉会館も免震構造になる（現設計は耐震構造）</li> <li>・シンプルな直線型の建物形状になる（現設計はL字型で複雑）</li> <li>・工事費（連動してライフサイクルコスト）の減</li> <li>・工期の短縮</li> <li>・公共施設マネジメント基金に不安あり。庁舎建設コストを下げて他の施設の改修を。</li> </ul>	22	<p>見直し案を検討、採用する考えはない。理由は次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現設計は実施設計の積算まで終えたものであるが、見直し案は前提条件の抜本的な見直しを提起した1つの提案であり、詳細な設計がされておらず（建設費は床面積に単価を掛けた程度の概算レベル）、熟度が異なる。</li> <li>・現設計は基本設計のプロポーザル条件を踏まえ、参加資格を備えた設計者（実績、体制など）の中から設計者選定の手続きを経たものである。適正なプロセスを経ていない見直し案を検討するのは、透明性、公平性から逸脱することから、設計を大きく見直す場合、前提条件を変更したうえでプロポーザルからやり直さなくてはならず、何年も立ち戻ることになる。その間に新しい案が出るかもしれないし、切りがない。</li> <li>・現設計は、基本構想、建設計画調査、設計者選考委員会、基本設計で市民ワークショップなどの市民参画、実施設計とプロセスを経て、議会の議決を受け、民主的手続きを経て進めているが、見直し案はこのようなプロセスを経ておらず、一部の市民が主張している案である。</li> <li>・実施設計を再開しており、見直しの議論をする段階ではない。</li> <li>・庁舎が進まないことで市政が停滞しており（福祉・協働・交流のまちづくりの拠点づくり、本庁舎の老朽化、大きな組織改編、職員のパフォーマンスの向上、跡地活用、第二庁舎の賃料解消等）、現設計をもとに早期建設を目指すべき。</li> </ul>
4	見直し案	<p>見直し案に反対</p> <p>（主な理由）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民案と言っているが私案にすぎない。市民案と言われるのは不本意</li> <li>・後出しジャンケンが認められると、いつまで経っても決まらない。</li> <li>・なぜもっと早く言い出して、プロポーザルに参加しなかったのか。早急に庁舎を建設することを優先して欲しい。</li> </ul>	5	-
5	見直し案	見直し案について設計者はどう思ったか。	1	設計者に業務外で少し見せたところ、「詳しく聞いてみないと分からない」との話だった。

6	構造	福社会館も免震構造にして欲しい。	<p>耐震構造は、柱や壁をしっかりと作って地震に耐える構造形式で、免震構造はゴムの上に建物を載せて、ゆっくりと揺れて地震に耐える構造形式で、庁舎と福社会館の耐震強度は同じ。地震が来たら、安全確認後に建物から避難するのが基本。ほとんどの公共施設は耐震構造で、巨大地震時には、外に避難してもらう前提になっている。巨大地震が来たときには余震もあり、市民が避難生活をしている間に、福社会館は通常の市民サービスを一度ストップすると考えられる。一方、庁舎は、発災時には災害対策本部機能を持つだけでなく、何日以内、何時間以内に業務を再開しなくてはならないという事業継続計画が決まっており、機能継続の必要性が高いため免震構造としている。</p> <p>7 建設コストは耐震構造より免震構造の方が高くなり、さらに、免震装置も数十年に1回入替をする必要があり、更新コストも巨額になる。初期コスト・更新コストも考慮すると、災害対策機能を持つ庁舎は免震構造を選択し、それ以外は耐震構造としている自治体が多い。</p> <p>また、福社会館は通常建築基準法の1.25倍で良いところを、1.5倍の耐震強度としており、庁舎の耐震強度と同じである。</p> <p>基本設計時にも総免震化については議会から意見もあり、議論をし、結果的に免震＋耐震構造のまま実施設計をすることとなっている。また、本年7月から8月に検証を行い、構造の変更でコストダウンにつながるものではないと分かり、免震＋耐震で進めたいという結論に至った。</p>
7	構造	免震構造と耐震構造の体感としての違いは。	<p>1 耐震構造は、地面に繋がっているため、地震の揺れと同じように揺れる。建物内部では家具や照明も揺れるので固定が必要。免震の場合はゴムの上に載っており、ゆっくりと揺れ、家具などが倒れにくい。強度については、想定地震以下であれば、耐震構造だけ壊れるということはない。</p>
8	構造	免震構造の庁舎が耐震構造の上に乗っているが、耐震構造部分が壊れた場合にも免震構造部分は大丈夫なのか。	<p>1 庁舎と福社会館は同じ強度で設定して計算しているため、どちらが壊れやすいということはない。ただし、耐震構造の方が揺れが急なので、家具などは倒れないように固定することになる。</p>

9	構造	L字型で建物が重なっているうえ、免震と耐震が潜り込んでクロスしている。大地震時に不具合がないか心配がある。	1	構造計算を行い、大きな地震に耐えられるか計算をしている。さらに、構造計算結果は、国土交通大臣の認定を取得しており、安全に利用いただける。また、L字型の接合部分は、エキスパンションジョイントで動くようになっているので、地震時には注意喚起表示をする。 重ね合わせることによって想定範囲内の地震で壊れてしまうということはない。
10	構造	耐震構造と免震構造を合体させるとひずみができるとの話を聞いたことがあるが、問題ないのか。	1	古い建物に新しい建物を増築する場合など、耐震構造と免震構造を合体させる例は多数ある。東京駅などは耐震構造の上に免震の駅舎が載っている。 耐震構造は、柱や壁をしっかり作って地震に耐える構造形式で、免震構造はゴムの上に建物を載せて、ゆっくりと揺れて地震に耐える構造形式で、揺れ方が違う。耐震構造と免震構造を複合させる場合は、ぶつからないように隙間を設けて設計する。連結部は、電車の接続部のように動くので、地震時には連結部から離れていただくことが必要であり、注意喚起の表示も行う。
11	構造	京都、奈良の古い寺院は免震構造ではない。免震構造は信じられない。	1	-
12	構造	小金井市は、近くに（所沢から立川）断層がある。庁舎は福祉会館の上で、30m近く片持ち構造となっている。地震の横揺れだけでなく、上下の振動もある。片持ち構造は上下の振動に弱い。建物各所に変形ひずみが生じることにに対してどういった考慮をしているのか。	1	片持ち構造ではなく、庁舎が福祉会館に載っている形で、庁舎の重量を地盤までしっかりと伝えている形になっている。さらに、通常、福祉会館は構造強度が1.25必要なのに対して、1.5倍の強度としている。 地震対策については、過去の地震をもとに、予備地震波を作成し、計算をしているので、想定値以内の地震に対して壊れることはない。 縦揺れについては、小金井市の直下が震源の場合であるが、過去に小金井市直下での地震が起こっていないので可能性は低いと思われるし、現在の建築技術では直下型地震の対応は限界がある。直下で地震が起こった場合は、安全を確認して避難をして欲しい。
13	建物形状	設計者はL字型の建物を手掛けた実績はあるか。設計者が手掛けなくても、関東で複雑な形状の庁舎というものはあるのか。	1	設計者が設計したものではありません。釜石市庁舎と秩父市庁舎（市民会館部分を除く）がL字型。関東で近年竣工した庁舎では、瑞穂町と千葉市がL字型

14	施設配置	建物を南側に配置している理由は。	1	敷地は準工業地域になっており、日影制限がある。さらに第2種高度地区という北側の高さ制限もあり、北側に高い建物を建てるができない。駐車場や駐輪場を確保しながら、既存樹木も残すことを考えながら、まとまった建物を建てる必要があり、南側に建物を配置している。 また、南側に広場を配置すると、夏場は直射日光により居られないし、北側に駐車場があることにより、車が異常に熱くなることは避けられる。北側に広場があることにより、子どもも日陰で遊べる。
15	広場	敷地南側に3000㎡の広場を確保して欲しい	5	3000㎡の広場を作るのは難しいと考えている。基本設計のパブコメの意見を取り入れて、実施設計で広場を増やした経緯がある。現在の設計では840㎡の面積があるが、更に広げられないか検討している。 施設配置については、建設計画調査を行い、施設の配置、規模を決めている。日影規制があり、建物の高さに規制あるため、建物を南側に寄せて配置しており、その関係で北側に広場を配置している。
16	広場	子育て世代の立場から、広場は現設計の位置が良い。南側の広場だと、暑い時期の6ヶ月間は暑すぎて、子供を連れて利用できない。	1	-
17	広場	庁舎の屋上も広場として使えるようにして、庁舎屋上を保育園の運動会で使えるような方法も検討できないか。	1	庁舎屋上は機械設備置場で使っていて、広場として使うことは難しい。
18	広場	ひろばスペースとさくらひろばを合わせて840㎡か。	1	さくらひろばだけで840㎡あり、現在の本庁舎駐車場くらいの広さがある。
19	外構動線	現設計は、人、バス、車の動線が交錯するので、再検討してほしい。また、駐車場が2つに分かれると、動線が2つになり、事故が起こるリスクがあるので検討をお願いします。	1	広場を含めた外構の再検討の際に、安全性に配慮して検討したい。
20	外構動線	広場の利用者と駐車場が近いのでぶつかる危険がある。	2	広場利用者の安全性については、今後検討したい。
21	外構動線	緑中央通りを高齢者が行き来する。新庁舎ができると車の出入りがあるので、交通対策を取らないと事故が起きるのではと心配している。	1	警備員配置などの安全対策を今後検討する。

22	外構動線	歩行者が敷地に入ってから、新庁舎玄関まで何を目指して進んで行けばよいのか分からない。高架下から入るとピロティがあるが、建物の外側をぐるっと回って建物に入らなければならない。さくら広場側から入っても舗装されたひろばを歩いて行くようになる。	1	西側の通りから入るのがメインの動線と考えている。中央に入口があるが、距離がある。建物西側にも出入口を設けているので、実際は西出入口から入ることが多くなると思われる。
23	駐車場	福祉会館もある複合施設として、駐車台数が足りないのではないかと。市民サークルのロッカー申込の日には、100台近くの車が来庁し、事故がおきる懸念がある。広場も大事だが、市役所へのアクセスは重要であり、市庁舎として機能上必要なものを優先して欲しい。また、駐車スペースの大きさを確認したい。	4	現設計の109台を確保しながら、広場を広げられないか検討をする。また、駐車場だけではなく、公共交通機関のあり方も含めて検討したい。 駐車スペースの大きさは以下のとおり (西側) 庁舎側駐車場 計26台 普通車用(幅2.5m×奥行6.0m) 13台、小型車用(幅2.5m×奥行5.0m) 13台 (東側) 福祉会館側駐車場 計19台 障がい者用(幅3.5m×奥行6.46m) 2台、普通車用(幅3.0m×奥行6.46m) 2台、普通車用(幅2.5m×奥行6.0m) 5台、小型車用(幅2.5m×奥行5.0m) 4台、その他(幅3.0m×奥行7.7m) 3台、その他(幅2.5m×奥行4.415m) 3台
24	駐車場	駐車場は109台も必要か。向かいのマンションは6割程度しか埋まっていない。車を持たない人が増えている。需要が少ないのであれば、駐車台数を減らしてもよいのではないかと。	1	運用を始めてみないと多い少ないは分からないが、足りなくなるのではないかと懸念している。第2庁舎では、期日前投票の時には渋滞が起きている。台数を減らすことは実際に運用開始してから検討したい。
25	駐車場	駐車場台数台数について、現庁舎の台数との比較は。	1	建設計画調査では、現在の庁舎の台数や付置義務台数、他市状況等を参考に、駐車場126台+駐輪場400台と算定した。実施設計においては、広場を広げて欲しいというパブリックコメントの要望が多かったため駐車場を減らし、駐車場109台+駐輪場450台としている。
26	駐車場	広場が広いと良いが、駐車場と広場のせめぎ合いだと思う。駐車場台数の設定について教えて欲しい。かつての使われ方から決めた台数なのか、電子化が進みコンビニ交付も普及してきたことを考慮した台数なのか、ココバスのルート変更などを考慮した台数なのか。	1	H29年 建設計画調査 126台(公用車48台+付置義務台数58台+利便性向上目的20台)と設定。 R1年 基本設計 124台(本庁舎駐車場の利用状況なども踏まえて算出)としていたが、基本設計後のパブリックコメントで広場を増やす要望が多かったため15台減らし、 R3年 実施設計 109台(公用車41台(地下)+地上45台+臨時23台)とした。
27	駐車場	敷地の向かいにあるマンションは、駐車場が空いている。近隣駐車場を活用して、敷地内の駐車台数を減らすことができる余地があるのか	1	基本的には敷地内で駐車場を確保する考えであるが、運用の中で駐車場が足りない場合も考えられる。その際には相談させて頂きたい。

28	駐車場	市の職員の自動車と自転車は敷地内に停めるか。	1	職員の通勤用の自動車は停めない。自転車は停める。
29	駐車場	地下駐車場は職員の通勤用の駐車場か。	1	公用車用の駐車場で、業務で使用する自動車を停める。
30	近隣配慮	新庁舎敷地の前に住んでいる。庁舎の北面がガラス張りであるが、○時以降ブラインドをおろすなど、近隣住民に配慮して欲しい。	1	北面のガラスにフィルムを貼ることは可能である。庁舎から丸見えということはないが、どれだけ西側のマンションが見えるかは検証する。
31	近隣配慮	広場は騒音があるので、時間制限を設けて欲しい。	1	-
32	近隣配慮	店舗が高架下にオープンして車が多くなった。新庁舎ができる際には車の出入口の安全に配慮して欲しい。	1	車出入口の安全対策について、警察と協議をしていきたい。
33	近隣配慮	近隣マンションの車寄せの前に横断歩道と信号が建てられて、不便に感じている。そのことにより、敷地内を部外者が通り抜けする問題が起きているが、庁舎ができたら、通り抜けが増えることを心配している。高架下の南側のT字路に信号を設けて、マンションの車寄せ前の信号は廃止をして欲しい。	1	信号機は警察の所管であり、警察の安全の考え次第だが、分かればお知らせする。通り抜けの話は理事会の方から話は伺っている。理事会の方に言ってもらえれば、市にも連絡があることになっている。
34	高架下	JRの高架下をなぜ利用しないか。JRは小金井市に高架下を利用させるべき。	2	高架下はJRの土地であり、利用についてJRと協議している。庁舎敷地の北側の一部分は、工事中に通路として使わせてもらうことになっている。庁舎完成後も引き続き使えるよう、引き続き協議をしていく。
35	浸水対策	現設計は、建物に浸水しないが、敷地内は水没したままで、防災施設として成立するのか。敷地が浸水する今の設計は、避難時に問題が生じる。	1	駐車場の一部を自衛隊などの支援車が利用できるように、駐車場は盛り土をして上げている。庁舎については浸水対策として1階床の高さを上げるようにした。防災施設としての機能と財産を守ることを考えた対応を取った。 一部敷地内で浸水するが、敷地全体を上げてしまうと、下水で処理しきれなかった雨などが、敷地外に全て流出してしまう。敷地内に一定の水を貯留するので周辺への水の流出を抑える効果があり、庁舎の浸水対策は現設計で十分だと考えている。 未曾有の雨が降っている時は天気予報でも事前に分かるので、福社会館が通常どおりサービスを行っているとは考えられず、当日の避難の問題は無いと思う。
36	浸水対策	浸水するのに、地下駐車場に頼るのは適切か。	1	浸水レベルは、1階床、地下駐車場は浸水しないような高さ設定としている。なお、ハザードマップ改定による浸水は、下水が処理できないことによって雨水が溜まる内水氾濫となっており、年超過確率1,000分の1の降雨量を想定している。

37	浸水対策	ブルドーザーやショベルカーで敷地を平らに整備すれば良い。	1	1 m以上盛土をするには開発許可という手続きが必要で、1年程度時間がかかる。議会においても敷地全体の高さを上げた方が良いか議論をしてきた。一方で、敷地全体の高さを上げてしまうと、内水氾濫をするような豪雨時に、隣地に雨が流出してしまう。現在の計画は、敷地内に一定の水を貯留するので周辺への水の流出を抑える効果があり、庁舎の浸水対策としては十分だと考えている。
38	浸水対策	蛇の目ミシンの跡地は過去78年間浸水したことはない。敷地内の排水口を大きく設計すればよい。	1	-
39	環境	太陽光発電設備が80kW→30kWになったり、福社会館屋上庭園が人工芝になるなど、世の流れに逆行している。	1	環境面についてはできることを考えたい。
40	環境	30kWの太陽光発電設備を載せる計画だが、30kWというのは、1か月の庁舎の電力消費量の何%に当たるか。	1	庁舎1階、2階、4階の執務室内の照明器具が賄える程度
41	環境	福社会館屋上の人工芝はマイクロプラスチックの問題があり、天然芝に見直して欲しい。	2	天然芝はメンテナンスの問題があり、引き続き検討したい。
42	環境	新しい庁舎はゼロエミッションになっているのか。	1	エネルギー消費量40%削減のZebOrientedを目指している。「Zeb」を目指すのは規模も10,000㎡あり難しい。運営して行く中で更なる削減が可能か検討していく。
43	環境	新庁舎が完成したら、リサイクル事業所機能は敷地内に戻して欲しい。	1	-
44	バリアフリー	庁舎のバリアフリーは。目の見えない方、耳の聞こえない方、LGBT含めてバリアフリーが十分か。	1	都のユニバーサルデザイン導入ガイドラインに沿って、様々な視点に立って多くの人々が利用しやすい施設となるよう設計している。また、バリアフリー法や福祉のまちづくり条例に従った設計としている。さらに、基本設計時には、各障がい者団体や子育て支援団体、高齢者団体にヒアリングをして進めてきた。 新福社会館については出入口にシグナルエイドを持つ人に対する音声案内を設けている。多目的トイレにはオストメイト設備を設置。 実施設計再開にあたり、都の福祉のまちづくり条例改定に従って、車いす専用のトイレなどを検討する予定である。
45	市民協働	市民協働の拠点が市の中央にできるのは良い。広場を活用した市民協働の取り組みは何か考えているか。	1	現在、具体的な話はないが、市民協働支援センターができた際には、市民協働の在り方検討委員会の答申内容を進めて行きたい。
46	アクセス	バリアフリーの観点から新庁舎のアクセスは。	1	現在、ココバスが敷地へ直接乗り入れる計画はなく、今後の課題。
47	アクセス	公共交通について、崖線下の地域からのアクセスを良くする方向に進んでいるかどうか	1	具体的な検討はできていないが、課題があることは理解している。



48	福祉会館	福祉会館において、福祉関係を2階、子ども関係を3階としている意図は何か。	1	福祉共同作業所の関係者に意見を聞いたところ、近年、障がい者施設で事件が起きており、部外者が入りやすい1階は避けたいという要望があり、2階にしている。子ども家庭支援センターは保健センターとの連携や、庁舎3階に子ども関係の課があるので3階に計画している。福祉会館はエレベーターが2基あるので、ベビーカーの方もエレベーターで上っていただくよう考えている。
49	福祉会館	福祉会館の使い方について、途中まで話し合われていたと思うが、どのように協議を再開させようと考えているか。	1	運用面はまだ決まっていないものが多い。運用面の検討のためにも、現設計で速やかに進めていきたい。
50	福祉会館	福祉会館が完成すると、多世代が交流できる施設になると良い。完成前から、使い方を検討ができるようにするのか。	1	建物を建設するかどうかの議論が中心で、実施設計に入ってからソフト面は協議できていない。できる前から、いかに人を巻き込んでいくかが大事で、ご意見を汲んでいきたい。
51	福祉会館	ジャノメ跡地に福祉会館をもってくる必要はなく、本庁舎跡地に市役所業務の一部をもってくる、1階に福祉会館、2階に図書館、3階に公民館を建てたらよいのではないか。	1	福祉会館はジャノメ跡地になる。本庁舎跡地をどのように活用していくかは、これから議論していく。
52	福祉会館	福祉会館が閉じている間の損失は。	1	福祉会館閉鎖の損失は金額換算できないが、不便の声は多数聞いており、福祉会館が閉鎖したことで、活動停止した団体が4団体あった。
53	改修	建物の中は配線・配管などが簡単に換えられる構造となっているか。また、広場は後で換えやすい構造になっているのか。	1	配線、配管は取替可能な設計になっている。広場は、後から工事を伴う改修は可能である。
54	検証	検証実施の意図は。	1	6月議会で実施設計再開の予算を提出したが、議会にて9項目について検証することを内容とした議員提案による修正予算案の議決があった。市として、この結果を受け止め、検証を行った。
55	検証	検証が1～9までしかない理由は。	1	検証項目は、前市長時代に議会と協議の場を設け、いろいろな意見を頂いたが、コストダウンにつながるかどうかという視点で建物について①～⑧までの項目として整理していたが、市長辞職により協議が終了してしまった。今回、再開に当たり、議会より、協議会で出ていたものについて、コストダウンにつながるか検証を行ってからその後を判断するというので、検証を行った。
56	検証	9項目の検証に対して、設計者としてオリジナルの提案はあったか。	1	さまざまな条件、要望を市と打合せを行いながら設計を行っている。設計事務所から、与条件に対して勝手に提案をすることはしない。
57	検証	地下駐車場をやめて立体駐車場を建てる案でコスト増になっているが金額の内訳は。	1	検証③の内訳としては、概算で地下駐車場廃止で2億円程度減、立体駐車場で5億円程度増、合計で工事費3.1億円増

58	検証	実施設計検証報告書の①⑥⑧を複合すれば、コスト削減ができると思う。「コスト、設計期間、機能面等への影響を考慮すると設計反映するだけの効果は見いだせなかった」という結論に至った理由は。	1	実施設計検証の各項目について、工事費だけでなく、設計費や、設計をやり直す時間もかかる。そういったことを考えると、コストダウンにつながるとはならないと判断をした。
59	LCC	メンテナンス費についても将来の物価上昇を考慮しているのか。	1	物価上昇の考慮は建設費のみで、メンテナンス費の物価上昇は考慮していない。
60	LCC	大規模修繕は何年後を計画しているか。	1	LCC算出時には30年目、40年目、60年目、80年目と条件設定し算出しているが、実際にどうするかは今後検討予定
61	LCC	建設費用よりも維持管理費の方が高くなる。福社会館屋上を人工芝から天然芝にすると植木屋にメンテナンスを頼むことが必要で維持費がかかり、メリット・デメリットを天秤にかけての判断が必要。L字型の形状を少し変えればメンテナンス費が抑えられるかなど、メンテナンス費軽減にも留意して検討して欲しい。	1	-
62	契約	発注方式について、設計・施工分離か、一括か。	1	設計と施工を分離する方式としている。
63	契約	責任追及がしやすいように設計施工一体で行った方が良い。	1	DB（設計施工一括方式）について、当初、DBにしたいと議会に提案したが、入札参加者が限られる問題や、コストが不明瞭になるので公共工事発注には適さないと判断され、分離方式とした経過がある。
64	契約	監理の事業者は決まっているのか。	1	未定
65	設計期間	再開設計のスケジュール9～14か月はもっと短くならないか。	1	構造に関わらないトイレのレイアウトなどの見直しがあり、18000㎡ある建物なので、図面修正、積算行っていくことを考えると妥当な設計期間だと考える。
66	条件変更	リサイクル施設の前提条件が変わった時点で、条件見直しをしなかったのか。	1	建設計画調査において、リサイクル施設の移転の有無それぞれの場合で施設配置を検討したが、施設配置の結論は変わらなかった。施設配置や施設規模の前提条件を基にプロポーザルを実施し、設計者を選定した。施設配置の条件は変わらない。
67	条件変更	同時竣工が前提条件だったら、設計案も変わったのか。	1	違う形となる可能性もあったと思うが、大きく形は変わらなかったのではと想像できる。H29、H30年に建設計画調査を行って配置を決めてきた。基本計画時には、東西に長い敷地で西面が道路に面しており、将来の行政需要に備えて余剰容積の活用を想定すると、敷地の奥の方に先に建てる建物を配置することを考えた。また、道路に面して広場を設けることで市庁舎の顔となることも基本計画の時は想定していた。それは同時竣工でも同様である。

68	公共施設	新庁舎は、現庁舎の位置から東側に移転するが、出張所を西側にも作って欲しい。	1	現在、出張所を作る計画はない。今後、手続は、マイナンバーカードを利用したコンビニサービスなどを拡充していくことになる。
69	公共施設	市の南側（崖線下）は公共施設が少ない。市の南側にも出張所をはじめとした施設を充実させてほしい。	2	崖線下の公共施設は重要な課題だと考えている。出張所をつくる計画はないが、公共施設配置は庁舎建設が進んだ後に検討していきたい。
70	公共施設	市内の公共施設はぼろぼろである。優先順位を決めて、一つ一つ解決して欲しい。	1	図書館をはじめ、市内の公共施設について多くの要望があるのは理解している。その中でも庁舎が優先だと考えて進めて行く。
71	情報提供	実施設計概要版が本日HPに掲載されたが、市民に対する説明が少ない。国分寺市の説明会ではオンライン中継や録画配信も行っている。市民に対する周知と意見聴取の仕方は検討して欲しい。	1	市民への情報提供が十分できていなかった部分があると反省しており、今後の方法は検討したい。
72	情報提供	プロポーザル時の設計者の提案を公開しているか。	1	プロポーザル時の提案や結果は市のHPに掲載している。
73	情報提供	数字、略語、英語が多くて分からない。「検討中」といったあいまいな発言はやめた方が良い。	1	-
74	配布資料	令和5年6月の再開予算修正可決の説明で、「※検証を除く予算は全会一致で可決」の意味は。	1	令和5年6月の再開予算について、議員提案による修正予算案が可決されたと書いている。これは議案の採決をとる時に、まず修正提案について可決され、その後に、原案部分について採決をとる。その原案部分については全会一致だった。
75	配布資料	（説明資料P17）23区・26市の市庁舎とのコスト比較で、小金井市の工事費に【参考】と書かれているが、意図は何か。	1	多摩市はR4年度の基本構想の段階の工事金額で、段階が進むにつれ金額が変わる可能性がある。 小金井市は積算額に建設時期の物価に合わせて想定したものとなっている。参考として載せている。
76	配布資料	実施設計概要版がR4年2月の資料となっている理由は。	1	R4年に設計をストップした。今回、再開するにあたり、最新の資料であるR4年2月のものに基づき、市民説明を行っている。
77	その他	今まで第二庁舎のリースで支払った額は。	1	第二庁舎の賃借料は駐車場と合わせて、年間2.6億円程度。これまで30年近く借りており、合計すると71億円程度
78	その他	今回の説明会は、形だけ意見を聞く会のように聞こえる。	1	今回は、実施設計を再開することになり、これまでの経緯と、現在の状況を説明するための説明会である。建物の構造は変更できないが、その上で、質疑やご意見頂いた中に、屋上庭園や駐車場、動線や広場などの気づきもあるため、そういったものを吸収したい。